

やたわか通信

2018年 6月 1日 (第22号)

ホームページ: <http://yatawaka.com/>

発行: 矢田わか子事務所



第196通常国会 矢田議員、本会議・委員会で連日質疑を行う

第196通常国会の会期は残り一カ月を切りました。矢田議員は5月の一カ月間で参議院本会議の代表質問が1回、委員会で3回質問する機会があり、「働く者」「生活者」の視点で質問するなど、政府提出法案等の審議に臨みました。

待機児童問題について、抜本的対策を問う

5/15(火) 内閣委員会

増加する待機児童問題等に関する質問を行い、少子化問題の大きな課題である「待機児童解消」に対する抜本的対策の政府見解を求めました。

◆政府の考える待機児童解消対策とは？

昨年10月時点の待機児童数が半年間で2倍以上に増加している。この実態の受け止めと今後の抜本対策について伺いたい。



矢田議員



松山 内閣府特命担当大臣

※上記の他、矢田議員は以下のテーマについても質問しました。

- ・公務員のセクハラ問題について
 - ・ひきこもり対策について
- 等

◆保育の受け皿を確保すべく、あらゆる手段を講じていく

国難と呼ぶべき少子化の危機に直面していることから、**待機児童解消は待ったなしの最優先課題**。2020年度までに32万人の受け皿を確保する。

具体的には、子育て安心プランの実現に向けた拠出金の拡充と、企業主導型保育事業として今年度新たに2万人分の募集をスタートする。

加えて、保育人材の確保や保育所等の広域利用の推進等、様々な取り組みを進めて、待機児童解消に向けて取り組んでいきたい。

地域における大学振興と若者の雇用創出強化を訴える

5/16(水) 参議院本会議

政府が提案する「地域大学振興・若者雇用機会創出就業促進法案」に対し、日本の大学における国際競争力強化と、地域における大学振興・若者雇用創出のための交付金制度のあるべきあり方を訴えました。



若者のやりがいある雇用について
訴える矢田議員▶

◆若者にとってやりがいのある雇用を目指すべき

地方大学・地域産業創生交付金を活かす上で、単に短期的な非正規雇用を増やすのではなく、**若者にとってやりがいある質の高い、持続的な雇用を目指した取り組みにすべきと考える**が、大臣の所見を伺いたい。



矢田議員



梶山 内閣府特命担当大臣

※上記の他、矢田議員は以下のテーマについても質問しました。

- ・「地域再生法改正案」について

◆交付金による支援を通じてやりがいのある雇用を増やす

地域における魅力ある雇用の創出は、地方創生において極めて重要である。**相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのある仕事等の要件を満たす雇用を創出することが重要**である。

このため、地域が策定する計画の中で雇用者増加数をKPIとして設定し、また地方大学・地域産業創生交付金による支援を通じて、若者にとってやりがいのある質の高い雇用の増加を目指していく。

健康保険組合の財政健全化対策について政府見解を問う

5/21(月) 決算委員会

厚生労働省、会計検査院に対する省庁別審査が行われた決算委員会において、健康保険組合の財政問題に触れ、その対応策を提案し政府見解を求めました。

◆健保組合の財政健全化の対策は？

健保組合の解散は国の財政悪化に繋がりにかぬ。

対策の1つとして、高齢者医療費負担額に上限を設ける等の措置を講ずるべきと考えるが、見解を伺いたい。



矢田議員



加藤厚生労働大臣

※上記の他、矢田議員は以下のテーマについても質問しました。

- ・会計検査院の機能・体制の強化について
 - ・生活保護の不正受給問題について
 - ・高齢者女性の貧困問題について
- 等

◆医療費の適正化に向けて環境整備を図っていく

高齢者を取り巻く環境や医療費の動向、健保組合を含めた各保険者、国、地方の財政状況を踏まえて不断に検討していく必要がある。

後期高齢者支援金の加算・減算制度の評価指標について、特定健診や保健指導の実施率のみならず、糖尿病重症化予防の取り組みを追加する。また、加算率・減算率を段階的に引き上げ、**しっかりと取り組んでいる組織にはそれ相応の支援をするなど、健保組合が予防策や健康づくり、医療費の適正化に取り組んでいただけるように環境整備を図っていき**たい。

「大学振興・若者の雇用創出」、「地方再生」に関する法律案について審議を行う中で、勤務地限定の正社員制度に関する政府見解を求めました。

◆地域における若者の就業定着促進を

地方再生に取り組んでいるが、若者の都市部への流出が止まらないのは、安定した仕事に就けるのかという不安があるからである。

若者が地域に定着する施策の1つとして「地域限定社員」をどう考えるか？

※上記の他、矢田議員は以下のテーマについても質問しました。

- ・大学の国際競争力の強化について
- ・東京への本社機能移転の制限について
- ・商店街の活性化について 等



矢田議員



田中内閣府副大臣

◆企業に対し、勤務地限定の正社員制度導入支援を進める

勤務地限定の正社員制度の導入は、地方の雇用機会の創出に繋がり、その地域で働きたい学生の想いにも応えることに繋がる。企業にとっても、人材確保や採用後の職場定着などメリットが大きいと考える。

厚生労働省は若者雇用促進法に基づく事業主指針を改正し、募集、採用にあたって希望する地域などで働ける環境整備を講ずるべき旨を定めた。

内閣官房としても、関係省庁と連携し、若者にとって魅力ある雇用機会の創出に努める。

★詳細は矢田わか子公式Webサイトをご覧ください。 / YouTube やたわかチャンネルでもご覧いただけます！

今後も電機連合組織内議員3人で、「働く者」「生活者」のために、新たな政党で頑張ります

5月7日(月)、志を同じくする仲間が集まり、国民民主党がスタートしました。

電機連合組織内国会議員である、石上としお参議院議員、浅野さとし衆議院議員とともに国民民主党に所属し、3人で一致協力して「働く者」「生活者」の声を国政に伝えてまいります。また、電機連合や構成組織の皆さんと協力して、「ものづくり産業の振興」のための政策・制度推進に、果敢に挑戦していきたいと思っております。

引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲電機連合組織内議員3人で頑張ります (左：矢田議員／中央：石上議員／右：浅野議員)



矢田議員が所属している「国民民主党」はどのようなスタンスなの？

国民民主党は、「対決ではなく解決。」の姿勢で、「働く者」「生活者」のために国政で様々な論議に参画し、政策・制度実現に取り組む政党です。ポイントは以下の3点です。



1

国民民主党は改革中道政党です

特定の主義主張に偏るのではなく、リベラル・保守の対立を乗り越え、諸問題に対し現実的に向き合う「改革中道政党」として、具体的な解決策を示します。

2

根本理念としての「共生」を重視

私たちが最も大切にしたい価値は、「共生」の理念、世界中で社会の分断が広がっている今、「時間的な共生」「社会的な共生」「地球的な共生」を重視します。

3

責任ある再分配政策で暮らしを守る

格差や貧困がすすんでいる今、再分配機能を強化し、「人生100年時代」に、誰もが安心して暮らせる生活保障の仕組みを作ります。

◆矢田議員からのメッセージ

「働き方改革関連法案」が衆議院を通過し、論戦は参議院の場へ。私自身も働き方改革は長年にわたり、取り組んできた課題であり、党としても約2年間、議論を重ねて「法案」を作り、国会へ提出しました。現場で働く人たちの意見を国会審議に反映していきます。 矢田わか子